

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年1月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備高性能容器交換用クレーンの一時動作不良について】</p> <p>協力企業作業員が、既設多核種除去設備において高性能容器交換用クレーンを使用していたところ、横行が出来なくなる不具合を確認。</p> <p>クレーン電源の再投入を行ったが復旧しなかった。</p> <p>インバータの状態を表示する画面を確認したところ、インバータの故障を示す表示がされていた。</p> <p>調査の結果、インバータ端子部と配線に黒い汚れを確認したため、接触不良を起こした可能性があるかと推定。</p> <p>インバータ端子部磨き清掃・素線の手入れ・制御盤外観点検後、電源を投入したところ、インバータエラーは表示されずクレーンが正常に動作することを確認した。</p> <p>当該クレーンが横行出来なくなった原因は、インバータの接触不良であることが確認され、今後、点検方法等を検討して行く予定。</p>	GⅢ	1月14日
2	<p>【免震重要棟1階の自動消火設備の運用について】</p> <p>当社社員が、消防署立入検査時に随行した原子力保安検査官から、免震重要棟1階の通信機械室、および、コンピュータ室の自動消火設備(窒素ガス)が、作業員が入室しているにもかかわらず、自動運用となっていることを指摘された。</p> <p>自動消火設備の運用状況を確認したところ、震災以降、常時人が居ない場所と判断し、常時自動のままでも問題ないと考え、常時自動で運用していた。</p> <p>運用に関する法令、マニュアル・ガイドに要求なし。</p> <p>今後、常時手動とする運用を検討中。</p> <p>暫定対策として、人が入室していない時間は自動運用とし、入室時は入室者が手動切替することで対応する。</p>	GⅢ	1月15日
3	<p>【6号機原子炉建屋空気冷却器制御盤扉の解錠不具合について】</p> <p>当直員が、6号機原子炉建屋空気冷却器制御盤扉のドアノブ鍵が破損し、鍵穴が空回りし施錠を解錠できない状況を確認。</p> <p>当該制御盤扉は、開放されており、閉鎖できない状況。</p> <p>制御盤の設置箇所は、施錠管理されているエリアのため、容易に人の出入りはできない。</p> <p>今後、状況を確認し、ドアノブの調整・交換予定。</p>	GⅢ	1月16日
4	<p>【A排水路の放射線モニタ計装品の不良について】</p> <p>当社社員が、「1～4号機放射線モニタ周辺機器点検手入工事」の工事監理を実施した際、下記2件の不具合を確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A排水路放射線モニタ(A) サンプル圧力指示変換器に指示は表示されるものの、出力が変化しない。</li> <li>・A排水路放射線モニタ(A) サンプル槽水位が通常にもかかわらず、リレーユニットの水位高接点動作しており、リセットできない。</li> </ul> <p>放射線モニタ(B)が健全であり、測定機能には問題なし。</p> <p>今後、放射線モニタ計装品の交換予定。</p>	GⅢ	1月14日
5	<p>【5・6号機淡水化装置の取水槽からのオーバーフローについて】</p> <p>当直員が、5・6号機淡水化装置の「取水槽水位高」警報が発生したため、WEBカメラで確認したところ取水槽からオーバーフローしていたため、淡水化装置の緊急停止を実施。</p> <p>原因は、当社社員が前置ろ過器逆洗他作業後の淡水化装置起動に伴う淡水化装置の弁切替操作時、回収タンク側へ操作するところ誤って取水槽側へ操作したと判明。</p> <p>取水槽からオーバーフローした水は、回収済み。</p> <p>今後、再発防止対策を検討予定。</p>	GⅢ	1月18日
6	<p>【地下水バイパス揚水井(D)の循環戻り配管耐圧ホースの変形について】</p> <p>協力企業作業員が、地下水バイパス揚水井(D)の点検を行ったところ、循環戻り配管の耐圧ホースに変形と伸びを確認。</p> <p>揚水井(D)のホースの自重により、経年的に変形したと推定。</p> <p>今後、外観目視点検、および、写真を残し、変化の有無を確認する。</p> <p>また、ホース交換時期を検討する。</p>	GⅢ	1月15日